



## 「奈良白毫寺とその周辺散策」の記録

C グループ 福嶋明子

花の寺(ツバキ、ハギ)として有名な白毫寺から春日大社にかけて、高円山・春日山の麓を散策。おめあての白毫寺の萩は、夏の暑さで花付きが少なかったようではあったけれど、ようやく秋らしくなったさわやかな風を感じながら、彼岸花や椎の実、コスモス、ヤマブドウ、カラスウリ、アケビ、ススキなど、随所に小さな秋を見つけることができた。

日時 10月2日(木) 参加人数 27人

行程 10:00 近鉄奈良駅 行基像前に集合。案内してくださる「ならなぎ」所属 竹山氏の紹介。

10:25 北野行きバスに乗車。 10:45 バス停 白毫寺 着。

宝蔵院流槍術の創始者 胤栄の墓に立ち寄った後、白毫寺への坂を登る。

11:10 白毫寺着。門前の階段は少しきつかったが、境内には萩のほか、五色椿の大木、万葉歌碑、奈良の中心部から生駒山まで見渡せる展望台もあり、ほっと一息ついた。宝蔵には、本尊の阿弥陀如来座像をはじめとする仏像と、閻魔王とその眷属の像が異彩を放っていた。

12:00～12:40 東山緑地にて昼食。

その後、山裾沿いに、女性に御利益があるという赤乳神社・白乳神社、紀伊神社・竜王の珠石などを経て若宮神社に向かう。若宮神社手前には、重要文化財 柚木(ゆのき)燈籠のレプリカがあった。

13:25 若宮神社着。社殿に春日若宮おん祭を描いた屏風が展示されていた。

若宮と親神様である春日大社本殿をつなぐ御間道(おあいみち)に立ち並ぶ御間燈籠を見て、春日大社本殿へ向かう。御間燈籠の一基の火袋は昔の華麗な姿に復元されていた。

13:50 春日大社本殿着。本殿前の、砂すりのフジとよばれる大藤、奥の大杉、回廊の吊燈籠などを見る。出口近くには、阿倍仲麻呂の「天の原ふりさけみれば春日なる三笠の山にいでし月かも」の歌碑。

14:15 春日大社本殿前バス停横にて、諸連絡。解散。

企画・案内してくださった莊村さん、竹山さん、ありがとうございました。





白毫寺展望台にて



白毫寺石段の萩



御間燈籠

若宮神社

